

教育委員会会議録

(臨時会)

平成30年8月2日開催

さいたま市教育委員会

1	期	日	平成30年8月2日(木)		
2	場	所	教育委員会室		
3	開	会	午前10時00分		
4	出	席	教 育 長	細 田 眞由美	
			教育長職務代理者	大 谷 幸 男	
			委 員	石 田 有 世	
			委 員	野 上 武 利	
			委 員	武 田 ちあき	
			委 員	柳 田 美 幸	
5	議	場	に出席した者		
			副教育長	久保田 章	
			管理部長	矢 部 武	
			学校教育部長(選定委員長)	平 沼 智	
			生涯学習部長	竹 居 秀 子	
			学校教育部参事兼高校教育課長	吉 野 浩 一	
			教育総務課長	高 木 泰 博	
			指導1課長	吉 田 賀 一	
			浦和中学校長	平 川 充 保	
			国語調査専門員長	濱 崎 泰 行	
			書写調査専門員長	近 藤 智	
			社会・地区調査専門員長	小 堺 新 一	
			算数調査専門員長	永 山 誉	
			理科調査専門員長	町 田 隆 則	
			生活調査専門員長	佐 野 公 子	
			音楽調査専門員長	監 物 幸 彦	
			図画工作調査専門員長	丹 後 雅 博	
			家庭調査専門員長	西 畑 孔 夫	
			保健調査専門員長	小 野 圭 司	
			道徳調査専門員長	蓮 見 哲	
6	会	議	録署名委員	石 田 有 世	

7 議事等の概要

- 細田教育長 それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。
- 書記 60名いらっしゃいます。
- 細田教育長 本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可して
よろしいでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、傍聴を許可します。
- <傍聴人入室>
- 細田教育長 本日の会議録の署名委員は、石田委員にお願いいたします。
- 議案第58号 平成31年度使用さいたま市立中学校用教科用図書(道徳科)の採択
について
- 細田教育長 それでは、議案第58号につきまして、事務局から説明をお願いします。
ます。
- 指導1課長 本議案は、平成31年度からさいたま市立中学校で使用する、特別
の教科道徳の教科用図書の採択をお願いするものです。
教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する
法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する
法律第10条、さいたま市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2
条第3号等の規定により、埼玉県教育委員会の指導助言の下にさい
たま市教育委員会で行うことになっております。したがって、本日こ
こに教科用図書の採択をお願いするものでございます。
本日の採択では、初めに教科用図書調査専門員長から、調査専門員
会の結果を報告させていただきます。次に、教科用図書選定委員長
から、選定委員会の結果を報告させていただきます。その後、学校の
研究結果を事務局から報告させていただきますので、これらの報告を
踏まえて、審議の後、採択をお願いいたします。
なお、本日の報告は、全て教科書目録順に行われますので、御承知
おきください。
以上でございます。

細田教育長

それでは、道徳の教科書について協議検討を行います。
道徳調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

中学校道徳の教科用図書調査専門委員会では、教科書目録に掲載された8種、24冊の教科書と6冊の道徳ノートの30点全てについて調査研究をいたしました。教科となった道徳が、道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習であることから、教科書を研究するに当たっては、学級の仲間と考え、議論したり、役割演技、ロールプレイをしたり、問題解決的な学習に取り組むことで、多面的・多角的に物事を考えられるという視点を重視しました。お手元の教科用図書調査専門委員会報告書ですが、1枚に2社ずつ掲載してあり、一つの出版会社は横に見ていくようになっています。

それでは、教科書目録順に、御説明いたします。まず、東京書籍です。1年生の10ページですが、目標との関わりについては、冒頭で内容項目を分かりやすい言葉で示しています。次に13ページですが、教材の末尾には、道徳的価値を考える問い掛けと、自らを見つめ直す問い掛けを示しています。内容については、まず、2年生の3ページですが、巻頭に「話し合いの手引き」を掲載して授業の進め方の道筋を示しています。次に92ページですが「アクション」として役割演技を通して深く考えることができるように工夫されています。また、3年生の24ページから33ページまでですが、10ページに渡って、いじめについて考えるようになっています。また、66ページから75ページまでにつきましても命を考えるテーマになっていて、総合単元的に構成し、連続した時間で行うことで、生徒の考えを深めることを狙っています。資料については、2年生の88、89ページですが、迫力をもって生徒の心に訴えたい教材では、写真を紙面全体に載せる工夫が見られます。表記・表現については、AB版で行間にゆとりがあり、読みやすくなっています。また、難解な漢字には振り仮名、必要な情報には脚注で解説が付けられています。

次に、学校図書です。1年生の36ページですが、目標との関わりについては、読み物の教材冒頭に主題を示したり、関連する内容項目で重要と考えられるものはページ下にマークを記したりして、教材での狙いを明確に示した上で、多面的・多角的な考えを引き出す工夫がみられます。内容については、2年生の132ページですが、全教材の末尾に「学びに向かうために」として、「考えよう・意見交換・見つめよう」などの学びを深める手立てが示されています。また、2年生の171ページですが、1年間の学校生活の流れに沿った教材配置

になっており、振り返りを記入するページが設けられています。資料については、1年生の84ページから90ページまでですが、文字が大きく、写真やイラストが豊富で教材の内容を的確につかめるような工夫がなされています。表記・表現については、1年生の224ページですが、牽引で色分けやマークを用いて、内容項目と4つの視点を区別して表しています。また、223ページですが、巻末に「保護者の方へ」のページを設け、学習内容を解説して家庭教育との連携を図っています。

次に、教育出版です。3年生の10ページですが、目標との関わりについては、読み物の冒頭には導入の文章、ここでは「友達っていいなと思うのはどんなときだろう」というような問い掛けを必ず設け、学習の狙いを明確にして、学習内容に入ることができるようにしています。また、17ページのように教材の末尾には「学びの道しるべ」を設け、教材理解だけでなく、物事や道徳的価値を自分に引き付けて考えたり、多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問が示されています。内容については、3年生の88ページですが「死刑制度を考える」のように問題解決的な学習を取り入れられる教材が複数あり、「考え、議論する」ことが行いやすくなっています。また、2年生の58ページですが、さいたま市にゆかりのある宮澤章二氏の資料が入っており、生徒は興味・関心を持って取り組みます。資料については、1年生の32ページにロケット開発について、また、60ページにはイチロー選手が取り上げられ、将来に向かって挑戦していく態度を培う教材を掲載しています。表記・表現については、B5判で持ちやすく、軽い作りになっています。1年生の教科書の目次では、教材の冒頭で色分けをして4つの視点のどれに当てはまるかを示しています。

次に光村図書です。1年生の2、3ページですが、目標との関わりについては、1年間を4つの「学習のおおきなまとまり」に分け、ユニットテーマと関連させ、生徒の成長に合わせた学習内容の配置がされています。また、1年生の11ページですが、教材の後ろには「私の気づき」として授業で感じたことを書く欄が設けられています。内容については、2年生の47ページですが「学びのテーマ」を定め、生徒が教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識できるように示しています。また、全学年を通して、特に「生命を大切に作る心」の育成に重点を置き、「生命の尊さ」に関する教材をどの学年にも3つずつ掲載しています。資料については、2年生の16ページに新聞を扱った教材があります。また、154ページでは歌の歌詞を扱っています。このように様々な教材があり、生徒が、興味・関心をもって多面的・多角的に考えられるような工夫がみられます。表記・表現につい

ては、B版で持ち運びしやすく、紙質が軽く柔らかく、カラーページが豊富になっています。常用漢字には、全てに振り仮名が付けられています。

次に、日本文教出版です。「読み物」と「道徳ノート」の2冊で構成されています。1年生の教科書の2ページから5ページまでですが、目標との関わりについては「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」、「この教科書で学ぶテーマ」を冒頭で紹介し、学習内容を理解した上で進められるような工夫がみられます。内容については、道徳ノートと併用することで、言語活動を充実させ、多面的・多角的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしています。1年生の34ページにいじめについての内容があり、35ページに「プラットホーム」とありますが、ここでは、題材ごとに立ち止まり、別の視点から改めて道徳的価値を捉えることができるようになっています。資料については、1年生の「もくじ」ですが、「いじめと向き合う①②③」というテーマで、7つの教材を通して考え、話し合う工夫がされています。また、2年生の119ページですが、「考えてみよう」や「自分にプラス1」で狙いに迫る構成になっています。表記・表現については、2年生の116ページに「ハイタッチがくれたもの」という題材名の上に三角や四角や丸の顔文字がありますが、これは社会や集団に関わる内容であることを示すマークで、教材の冒頭に4つの視点のどれに当てはまるかを示しています。また、題材名の下に、その題材の登場人物を紹介したりしています。また、多くのイラストや写真などが見やすく配置され、分かりやすくなっています。

次に、学研教育みらいです。1年生の2、3ページですが、「道徳で学ぶこと・考えること」「考えを深める4つのポイント」を提示して、道徳で学ぶポイントがわかりやすく紹介されています。続いて、1年生の10ページですが、目標との関わりについては、主題名をあえて教材に含めないことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にされた構成・展開になっています。内容については、1年生の9ページの「My Profile」から自分自身を見つめ、1年間が終わった後、179ページに「心の四季」がありますが、ここに記入することで、生徒自身が成長した自分に気付くことができるようになっています。3年生の59ページの「深めよう」では、問題解決的な学習を教材と関連させて、授業が進められるようになっています。資料については、1年生の45ページに「クローズアップ・プラス」として様々な資料の提示や問題提示があり、考えや視野を広げていく工夫が見られます。また、1年生の8ページですが、命については5つの教材、いじめについては4つの教材と数多く取り上げ、話し合いを深めることができる内容になっています。表記・表現について

は、A4版でゆとりのある構成になっています。各ページの下段には、意味の難しい言葉については解説を載せて、生徒の学習を支援するようになっています。

次に、廣濟堂あかつきです。「読み物」と「道徳ノート」の2冊で構成されています。1年生の道徳ノートですが、目標との関わりについては、道徳ノートの巻頭に自分の記録が残せるページがあります。また、2ページを始め、偶数ページには、道徳的価値の説明があり、奇数ページには、道徳的価値と関連のある問いが掲載されています。また、1年生の道徳ノートの52ページ以降には、学習の記録を残し、自己を振り返るページが多く掲載されています。内容については、1年生の35ページですが、全ての教材の終わりに偉人の明言を掲載し、生徒の考えをより深める手立てになっています。また、生徒が自ら課題意識や問題追及への意欲を高め、主体的・対話的に学習に取り組むことができるように「考える・話し合う」が設けられています。資料については、2年生の20ページですが、さいたま市ゆかりの宇治達郎医師の資料があります。また、2年生の教科書30ページですが、「thinking」では発達段階に応じて考えさせたい内容が紹介されています。また、42ページには、サッカーの三浦選手や様々なジャンルで活躍する人々が資料として掲載されています。表記・表現については、AB版で紙面にゆとりがあります。各ページの下段には、難しい言葉の解説があり、生徒の理解を助けるように工夫されています。

最後に、日本教科書です。3年生の4ページですが、目標との関わりについては、4ページに「道徳科って何を学ぶの?」、そして、6ページには「教科書の使い方」として、道徳の時間の学習の進め方についてのオリエンテーションがあります。また、表紙を開くと目次がありますが、4つの視点ごとに教材が配置されています。道徳的価値項目の順に教材が配列されているのが大きな特徴です。内容については、3年生の74ページですが、様々な意見や考えを載せた教材があり、「考え、議論する道徳」の進め方が意識され、道徳性を支える資質・能力を育成する構成になっています。73ページですが、全ての教材の後に、「考え・話し合ってみよう、そして深めてみよう」と話し合いの柱となる発問が添えられています。資料については、1年生の130ページですが、絵だけのページがあり、多面的・多角的に考えたり捉えたりして、話し合いを通して違いを認め合える内容になっています。また1年生の16ページにパラリンピックで活躍した国枝選手、26ページの吉田松陰のような歴史上の人物などと、幅広く生きる勇気や知恵などを感じられる教材を多く掲載しています。表記・表現については、全体的にシンプルですっきりとした構成になってい

ます。B5版でコンパクトな作りになっており、難しい漢字には振り仮名が付けられています。

以上で 報告を終わらせていただきます。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目道德について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、学研教育みらい、廣済堂あかつきの3種です。

東京書籍の優れている点は、「話し合いの手引き」を巻頭に掲載し、授業の進め方の道筋を示し、役割演技を主体とした活動が取り入れられている点、教材の末尾に、道徳的価値を考える問いと、自分を見つめ直す問いがあり、どの教師にも使いやすい点、巻末付録として、ホワイトボード用紙があり、話し合い活動を効果的に行えるように工夫している点などが挙げられます。

学研教育みらいの優れている点は、主題名を教材に含めないことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にしている点、物事を多面的・多角的に考え、議論することができるように、異なる複数の意見の提示や関連情報がある点、題材ごとに「深めよう」「クローズアップ」があり、多様な学びや道徳的価値について一層考えるように意識されている点などが挙げられます。

廣済堂あかつきの優れている点は、「読み物」と「道徳ノート」の2冊で構成されており、書くことと話すことの両方を通して道徳的思考を深めるよう工夫されている点、内容項目ごとの題材が掲載され、ノートの中に道徳的価値についての説明があり、生徒にとって分かりやすい内容となっている点、考え、話し合う場面でノートを活用し、生徒が内容について深く考え、狙いに迫ることができるようにしており、教員にとって見通しをもって授業を進められるようにしている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から説明をお願いします。

指導1課長

資料Cの1ページをお開きください。各中学校が調査研究の結果報告した2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。

東京書籍17校、学校図書6校、教育出版19校、光村図書出版13校、日本文教出版15校、学研教育みらい12校、廣済堂あかつ

き30校、日本教科書0校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、5ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員

本市では子どもたちにいわゆる知・徳・体にコミュニケーションを加えて、これらの能力をバランス良く育てていくという方針の下、取り組んでいただいています。私自身もコミュニケーションは今後ますます大事になってくると思っていて、その基本は挨拶だと思っています。道徳だけでやることではありませんが、道徳でも是非取り扱っていただきたいという思いがあります。そこでお尋ねしますが、こういった挨拶の指導は道徳の指導の内容項目に入っているのかどうか、また、具体的に各教科書でどのように取り上げられているのか御紹介いただきたい。持論になりますが、例えば学校行事との関係で言えば、体育祭が近いのであれば信頼や友情を大切にするという教材を直前に入れる等、そういった弾力的な実施も検討されてよろしいのではないかという思いを持っています。したがって挨拶は1年生のなるべく早い時期に御指導いただければありがたいと思っています。なお、本市においては「心を潤す4つの言葉」を推進していますが、これも挨拶の一つであって、本市としては当然取り組むべきコミュニケーションのベースだと思っています。

調査専門員長

小学校の1年生及び2年生に具体的に「気持ちのよい挨拶」という項目がありますが、小学校の3年生以上及び中学生は、「礼儀」ということで扱っています。具体的には各教科書が礼儀について扱っていますが、挨拶については1年生の教科書でのみ申し上げれば、東京書籍では14ページ、学校図書では152ページ、教育出版では12ページ、光村図書出版は挨拶ではなく礼儀ということで76ページ、日本文教出版は22ページ、学研教育みらいは20ページ、廣済堂あかつきは29ページ、日本教科書は44ページということでそれぞれ軽重はありますが扱っております。

大谷委員

これは要望ですが、私としては、早い時期からきちんとした言葉で御指導いただければありがたいと思っています。

石田委員

学校図書の巻末に「保護者の方へ」という項目がありますが、他の教科書ではこのような扱いはありますか。

調査専門員長

主に3社が扱っており、学校図書以外では、教育出版1年生の192ページの「どんな2年生になりたいか」というところの下に「家の人から」という一言書く欄があります。日本文教出版は道德ノートの40ページに「道德の学習で学んだことを書いてみよう」というところで保護者記入欄があります。子どもたちにとっては誕生の部分やキャリア教育の部分で保護者から説明してもらうことで家庭との連携ができると思いますが、それらについては全ての教科書会社は共通しております。

柳田委員

中学生になると部活動などで荷物が重くなりますが、各社の教科書の重さを教えていただけますでしょうか。

調査専門員長

東京書籍は397グラム、学校図書523グラム、教育出版345グラム、光村図書出版425グラム、日本文教出版439グラム、学研教育みらい427グラム、廣済堂あかつき502グラム、日本教科書346グラムです。なお、これは1年生から3年生までの平均で、道德ノートがあるものについてはそれも含めております。

武田委員

教科書は副読本や資料集と違って全ての子どもが使うということが前提になっていると思いますので、ユニバーサルデザインを使っていない教科書を見ますと実際に健常者でも見にくいページがあり、あるいは視覚の個人差によっては、参加できない単元があったりする教科書が今回ありました。全ての人を尊重するというのを教えるのが道德ですので、その教科書でそれがなされていないものがあるということに驚いたのですが、検定は通っておりますので、文部科学省の検定ではカラーユニバーサルデザインを踏まえていなければならないということは条件にはなっていないのでしょうか。

調査専門員長

今の御質問につきましては存じあげません。

武田委員

検定で通ってはいますが、私個人としましては実際に全ての子どもが参加できない教科書はどうかと思いますので、さいたま市の子どもたちには配慮がされている教科書を使ってほしいと思います。

細田教育長

武田委員さん、具体的に教科書名を教えてください。

武田委員

日本教科書の3年生を見ていただきますと、例えば26ページですが、写真の上に字がかかっており、他の教科書はカラーユニバーサルデザインになっているので同様のものでもそれほど見にくくもない

のですが、これは少し厳しいかと、また、43ページもやはり右側の方が厳しいと思います。2年生の70ページの単元では欄外に「錯視の見え方には個人差があります。図形によっては錯視が起こらない人もいます。また錯視画像を見ていて気分が悪くなったときは見るのをやめてください。」とあり、授業からドロップアウトしなければならないということになりまして、個人差があっても勉強できるというのが教科書だと思うのですが、そういう意味で心配になりました。

野上委員

私は産業界出身ですので、それに絡んで申し上げますと、教育出版の1年生の193ページに、都道府県にゆかりのある人物とその言葉というのがありますが、勉強するときには例えば40人生徒がいますと40人に共通する動機付けというのはなかなか難しいと思います。何か自分の心の中に結び付くことが起こると学習意欲が湧いてきているところに進んでいくわけです。その例としてこの場合は渋沢栄一ですが、当時日本を支える経済的基盤は絹や繭で、それを運ぶ手段が必要だと、そうすると氷川丸という大宮の氷川神社に由来する名前の船のある横浜まで中山道を通って運んでいたわけですが、それが上野から高崎までの鉄道に代わるといったような形で子どもたちの興味が広がっていくと思います。ここには47都道府県のもので載っていますが、例えば東京書籍にも同様に郷土のことを考えるということで174ページにあるのですが、数えたところ残念ながら16県しかなく、埼玉県のことを入れていただきたかったところがあります。ただ、東京書籍にも別の部分で1年生168ページに、「見沼に降る星」ということで見沼のことが載っていたりしますので他の教科書はどうかお尋ねしたいと思います。

調査専門員長

今お話のあった東京書籍ですが、2年生の教科書の182ページに荻野吟子さんが出ています。1年、2年、3年で47都道府県をカバーしてるのではないかと思います。野上委員がおっしゃっている郷土愛については、生徒にとっては心のよりどころということだとも思います。各教科書で埼玉県に関する部分を調べましたが、東京書籍は1年生で見沼に降る星、学校図書は見当たらず、教育出版は1年生126ページに秩父、2年生21ページに川口市の写真、3年生166ページに盆栽ということで北区の盆栽町、138ページに秩父の影森中学校の校歌が載っています。光村図書出版は3年生75ページに辻村みちよさん、日本文教出版は見当たりません。学研教育みらいは2年生50ページにサッカー選手の長谷部誠さん、3年生60ページにミラノにお勤めの目の不自由な方の話、70ページに町工場から宇宙へ、72ページの脚注に若田さんの名前が出ております。廣

済堂あかつきは20ページにガストロカメラ、日本教科書は1年生136ページに秩父の影森中学校、3年生にプラットホームでの奇跡ということで、これは南浦和駅での出来事だということです。教科書ではありませんが、本市教育委員会の読み物資料「はばたき」には、さいたま市ゆかりの方ということで、宮前中学校の校歌についてということで宮澤章二さん、七里小の関係で、総理大臣になった校長先生、また、盆栽の山田香織さん等を掲載した読み物資料がありますので、教科書と関連付けて進めることができます。

細田教育長

ただ今のお話ですと、郷土につながる資料ということでは、教育出版や学研教育みらいが豊富に入っていると伺うことができます。

大谷委員

今の野上委員の質問に関連して、尾高惇忠の読み物はありませんでしたか。渋沢栄一のいここにあたる方です。渋沢栄一は生きる指針に論語をおかれているが、その論語を教わったのが尾高惇忠です。尾高惇忠は初代の官営富岡製糸場の場長さんで、非常にいい教材だと私は思いました。学研教育みらいの2年生の教科書ですね。郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度なり心情というものは、きちんと御指導いただきたいという思いを持っております。こうした教材、わが郷土を取り上げた教材は魅力があると思います。もう一つは盆栽の教材はいいと思いました。世界に誇るわが盆栽村には苦労があったわけで、書いてありますが、戦時中に水くれをして非国民という陰口をたたかれながらも守ったわけですね。今や世界に誇る盆栽文化というものを子どもたちに理解していただきたいと思っています。それともう一つ、宮澤章二さんの有名な詩の教材につきまして、宮澤章二さんは、さいたま市でも多くの学校の校歌を作詞していただいております、私は直接会ったこともあって旧大宮市の教育委員長もなさっていた方ですが、行為の意味ということで、道徳については、課題を自ら考えるということ、指導者にあっては価値観の押し付けがあってはならない、子どもたちが考え議論をして考えを深めるということ、その次が私はあると思っています、実際に行動する、先ほどいろいろお話がありましたが、電車で妊婦が目の前に立たれたらやはり席を譲るという行動までできて、行為が伴って道徳なのではないかという思いをいたしております。考えを深めてからもう一步、自然に善行ができるというのが道徳だと思っています。ということでお尋ねですが、行為につながるようなそうした宮澤章二さんの「思いは見えないけれど、思いやりは見える」「こころはだれにも見えないけれどこころづかいは見える」、それは行為だと思えます。ある教科書が取り上げていましたが、これは是非全ての生徒に読んでいただきたいと思いました。行為までの道

筋をどう付けていくのかお尋ねします。

調査専門員長

宮澤章二さんの詩は教育出版2年生の58ページにあります。大谷委員の今の御発言には同じ思いを抱いております。中学生という年齢、大人になっていくときに彼らにまず何をすべきかと思うときに、心の中に種をまくのが一番大事だと思っております。いろいろな場面に出会ったときにどう判断するか、考え、感じて判断して動いていくものだと思いますので、中学校までの段階では心を豊かにする部分と判断力を高めることが大事だと思っております。

細田教育長

道徳という教科で、どうやって行動に結び付けるかといったことについて、様々な御意見があると思いますが、教科書の中でどう載せているかということでは、いかがでしょうか。

野上委員

企業でもよく言われますがPDCの後にアクションがあります。過程的なところで課題が見つかったらどうするのか。Aのところが大きく書いてある企業が多いです。どの教科書にもその道筋は書いてあるのだと思いますが、教育出版ですと1年生の27ページや77ページに「やってみよう」という項目があります。知識として、先生方が御苦労なさっているいろいろなことを児童生徒に御指導されたとする、それをどういう形で体現できるのかと。郷土のところに強い関心を持ったお子さんはどういう部分で関心があったのかということは「やってみよう」につながってくると思います。先生方も子どもはいろいろなところで反応してくるということで、それをまたテーマに授業展開をしていただくことで更に広がっていくと思います。他社でも「振り返り」等あると思いますが、これはとても大切なことだと思います。

細田教育長

今野上委員からありました教育出版の「やってみよう」で具体的な行動に結び付けることができるということですが、私が気になっているところではありましたので、例えば学研教育みらいの2年生の23ページ、他にもいろいろありますが、「深めよう」という、その資料文から具体的に深めていく、考えを整理してディスカッションして自分自身に振り返りを求めてそこから一歩踏み出そうというような教材の並べ方をしている教科書もあります。学研教育みらいは「深めよう」から「踏み出そう」までいろいろな資料文の後にありますので、大谷委員、野上委員がおっしゃっているような道徳的な価値が教室の中で共有され、それが自分の中に落とし込まれていくプロセス、そしてそれが教室の外で生活の中でも踏み出せるような教材の配列ということについても私自身はできていると考えているところでございます。

大谷委員 ありがとうございます。野上委員、教育長からお示しいただきましたとおり私も納得しました。そういう方向で御指導いただけたらありがたいと思います。

細田教育長 今回様々な切り口のある教科書があるので御意見をいただきたいのですが、東京書籍に心情円ということで例えば1年生最後のページに心情円という円があり、二つの円を重ねて可視化しようというのですが、こういったことについては賛否があると思いますが、委員の皆様のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

野上委員 可視化は良いことですが、今回道徳の教科化をするということはその子の評価をするということで、これが道徳の通信簿にグラフの円が大きいお子さんは理解しましたよと、良いところに気付きましたねと先生を誘導してしまうのではないかと。先生方が一番困るのは評価だと思うのですが、何が良くて何が悪いかというところがこのグラフに引きずられないかというところが、面白い試みですが、その懸念もあるというのが実感です。

武田委員 私も面白いと思いましたが、心を数量化するというか、色の割合に還元するというのは子どもたちの多様な心の動きを一定の基準にはめてしまうことにならないかなと、それは道徳の本質から外れていないかという心配があります。道徳という教科の特徴から考えると、すぐ結果が出ないということがあると思いますが、自分でもうまく表現ができない、そういった思いと辛抱強く付き合っていくということが大切で、結論や形にならないことを考え続けていくことができる子どもというのがむしろ道徳科と真剣に向き合っている子どもなのではないかと思ったりします。こうした心情円を与えたときにうまくこなせてしまう子が評価されるということになると逆に困るのかなと思うので、なかなか先生方によっては扱いが難しいのかなと思います。

細田教育長 今のお二人の意見、なるほどと思わされるどころかだと思います。

石田委員 1年から3年までの色が違いますが、1年はブルーとピンク、ブルーはブルーな気持ちで、ピンクは明るい気持ちなのかとわかりますが、他の学年で使っている色の意図はよくわかりません。

細田教育長 調査専門員会では、心情円について御意見はありましたか。

調査専門員長

議論には上がりませんでした。

細田教育長

もう一つ委員の皆様は教科書の形態について御意見をいただきたいのですが、ノートが別冊になっているものについてはどうでしょうか。

大谷委員

あくまで個人的な意見で絶対にそうでなくてはいけないわけではないのですが、このノートを書くのは負担かと思いました。個人的には空欄が埋まっていないと気持ちが悪くて、先生方はどう考えるかはわかりませんが、埋めるとすると負担かなということで、私はネガティブです。また、小さくて軽い方がいいのではないかという思いもあります。自分自身できちんとノートを作って、毎時間気付いたことや考えたこと、感じたことを自分のノートに書いた方がいいのではないかと思います。

武田委員

そういうメソドロジ的な部分で、教科書の本文の前後にふんだんに「考えてみよう」という設問があったり、ノートが付属していて記載を埋めていく形だったり、いわゆる親切的な教科書は、教員が道徳科の指導案を作成したり授業展開を計画していくには極めて好都合だと思いますが、そもそも道徳はそういう学習方法になじむ教科なのかと、至れり尽くせりのワークブック的な教科書が本来あるべき道徳科の教科書なのかという大きい問題があるかと思います。子どもにとっては読解して設問に答えてノートに記入するのでは国語とどう違うのかと感じたり、道徳科はそういう作業をして進める勉強なのかという疑問も持ったりするのではないかと思います。与えられた発問に対する作業量や記入量が多ければ主体的に動いているようには見えませんが、真に主体的な学びというのは、そういうことで確認する成果主義ではなくて、問題解決以前に問題発見の段階から児童生徒が自ら関わって自分の問題を立てるところから出発すべきなのではないかなと思います。未来を創るさいたま市の子どもを本気で育てようとするのであれば、とりわけ道徳科においては自分で問題を見つけて自分のやり方で考えるということを最重視すべきではないかと、生徒をフローチャートに乗せて流してというのは極力避けたいというのが個人的には思います。私は普段大学で授業をしていますが、実感として、大人の作った筋書きが見え透いている授業では生徒のモチベーションが高まらず、どんなに良くできた問いかけでも教科書に掲載されてカバーすべきノルマという形をとっているのは単に消化すべきルーティーンの域を出ないのではと思います。同じアクティビティ、問いかけでも教員がその場でちょっとやってみようかと提案する形でやり

ますと、受ける側にとって意外性と新鮮さに富んでいて、本当に生き生きとしたクリエイティブな学びになり得ると思います。教科書をやらされるのではなく、教科書を飛び出すような形の授業で生徒の心を感化するというのをさいたま市の先生方には期待したいなと思ひまして、そのためにも道徳科の教科書としては先生にも生徒にも自分らしく扱える余地を保ったもの、極力、言葉は悪いですが余計なおせっかいは少ないもので生徒を予定調和の結論に誘導しない、本文の書きぶりがニュートラルである、そういう観点で選んでいくのが好ましいのではないかと思います。

細田教育長

そもそも今回道徳が教科化した際に、考え議論する道徳ということが前面に押し出されていて、また、新しい学習指導要領が告示されてスタートするところがございますので、そこでも主体的、対話的で深い学びを実現させるためにこの道徳の教科書がどうあるべきかという議論が大変重要になってくると思います。私自身も武田委員がおっしゃっている論点と観点で教科書を見させていただいたときに8社の中で例えばテーマがあって、その資料文の題があって、その下に主題名がある、ないというのがあると思います。この資料文についてはこういう観点でということからスタートするか否か、その途中で設問なりが非常に観点が限られたところでまさに誘導するような設問があったりとか、アクティビティについても武田委員がおっしゃるような予定調和的なものがあつたりするような教科書から、資料文だけ出してあとはできるだけ深く自分の頭で考えようという教科書までバラエティに富んでいると思います。私どもも調査研究には時間をかけてまいりましたので、この教科書のここはどうだという御意見があれば議論していきたいと思ひます。こうしたことが教科書採択の試金石になるかと思ひます。

武田委員

保護者の立場で申し上げますと道徳科が他の教科と大きく異なる点の1つは、子どもが教科に対して、大人に都合のいいことを押し付けられるのではないかと子どもが警戒心を持つのではというところがあると思ひます。道徳が自分の問題として子どもが受け止めやすいものにするためにも、道徳の教科書はあくまで考える素材の提示、先ほど教育長がおっしゃったような、なるべくでしゃばらないというか、投げかける形を子どもがどう受け止めるかというその余地が大きいものがないのではないかと思います。そうしますと、あらかじめやることがたくさんあるとゆっくり考える時間がないということになりますので、教科書は控えめなスタンスで、英語の授業と同じで相手に選択肢を与えるためには時間、ゆとりが大切ですので、その場に

じたコミュニケーションはそうだと思いますが、フレキシビリティをキープするためにはやはりそれなりの余裕というかそういうものが確保された授業計画であるべきなので、そうすると時間に追われるスケジュールでは本末転倒だと思います。それに関連してアクティビティの問題ですが、今回道徳の教科化に当たり、主体的対話的で深い学び、いわゆるアクティブラーニング的なアプローチが授業に取り入れられていくということは理解できますし、それ自体はとても大切なことだと思いますが、アクティビティの内容的な妥当性が選択する上での一つの観点として重要だと思っており、道徳科のアクティビティは英語科のアクティビティと共通する課題が存在するように思えます。それは単なる授業のにぎやかしになってはいけないということで、英語の場合は非常によく考えられた実践的で効果的なアクティビティが本当にたくさんある一方で、一見楽しそうには見えるんですが、実は内容が児童生徒の英語力の向上に結び付かないとか設定が非現実的で実際のコミュニケーションに応用できないとかといったことが結構あります。道徳の場合も例えばロールプレイの場合は先ほど野上委員から御紹介していただいたようなこれは本当にやってみるといいねというアクティビティもたくさんあるのですが、中にはなぜこんな不愉快なことを再現しなければいけないのかというものもありました。そういうものを扱う場合は教員の方に御配慮を願うということはあると思います。

細田教育長

例えば資料文、材料になるものについて、今これを扱わなくてはならないところに課題のようなものが既に予期されるような資料文もあるわけですよ。そういったものを扱うときにその中に扱われているものを反面教師というかこうあるべきではないものとして扱うとすると、その教員の力量や料理の仕方によって転び方が難しいと思うんですね。中学生の発達段階ですので、8社の中からいくつかこの資料についてはなぜこれを選ばなくてはならないのかというものがあると思うのですが、そういったものがありますればここで御意見を言っていたっていいと思います。教科書を絞り込んでいく手掛かりになればと思いますので。

野上委員

私も今回読ませていただいて迷っているところが、この教科書でどう先生が教えられるのかなと思ったのが、例えば学研教育みらい1年生23ページ、日本人の礼儀のところ、新渡戸先生の話ですが、上段の最終行から下段の4行目にかけての文中に、程度の低い徳というものがあるのですが、程度の低い徳と高い徳はどう線引きするのだろうか、先生方はどのように教えるのかなと思いました。それから廣済

堂あかつきの2冊編成になっていると思うのですが、16ページに礼儀についての記述がありますが、礼儀の意義を理解し適切な言動をとるという中に、礼儀が重要視されるのは礼儀正しいか否かという点だけで、というところが引っ掛かるわけです。点だけでということになると、これを先生方が授業でどうやって教えるのかなというところで、逆にそれを問題提起して子どもたちもそこに引っかかるというのであれば、今度は判断、思考ということで広がりがあって、いろいろな条件のとき、僕はこの部分は賛成できるけど、というところへ引っ張っていく題材としてこれを取り上げているのであれば、正に教師が面目躍如するような指導の場面になるのですが、表面的に読んでいただいてしまうとどうなのかと思いました。

細田教育長

いろいろな資料文の中で、例えば程度の高い徳、低い徳ということで、どう扱うのかということについてそれぞれ扱う先生方の力量が問われるところが多分にあるかと思います。そうすると一つ一つの資料文でなかなか難しいのですが、武田委員からの御意見における、教科書によってかなりセットアップされていて誰がやってもこっちの方向に流れていくタイプの教科書と、もっと子どもたちに考え議論をさせていく教科書と、先ほど武田委員は余計なおせっかいがない教科書という言い方をされたかと思いますが、大谷委員はどうお考えですか。

大谷委員

私も現場に立っていた人間として、この教材を自由に御料理くださいと、どんな形でも料理するのが教員の力量でしょうという話ですけれども、やはり中学生の発達段階ではある程度形があって、その上でそれを踏まえて後は自由にとというのがいいのではないかと思います。例えば光村図書出版ですが、「学びのテーマ」ということで、「学びのテーマ」はこうで、それで考えて、その上で子どもたちが自由にと、同じように東京書籍もクラスの友達のことをどう思っているかと冒頭で方向性を出して、あるいは教育出版もそうですが、それを踏まえた上での自由な討論がしかるべきかと思います。

野上委員

大谷委員にお伺いしますが、1年生のときはこういうある意味では導きのような学びのテーマが書いてあって、それが2年、3年となっていくにつれて多感な時期なので、自分で問題をということはどうなんでしょうか。

大谷委員

3年の光村を見ても「学びのテーマ」は3年間あって、そのあたりのところはいかなものかという野上委員の考えだと思うのですが、大まかな方向性があるそれを踏まえた上で後は自由にそれぞれの

考えが述べられてしかるべきかと思います。

武田委員

私もそういうものを設定するのがいけないと言っているわけではなくて、道徳によってこういうものを子どもたちにバランスよく身に着けてもらいたいという教材の真意を受け取って子どもを育てていくということについては全くそれでよいと思いますが、やはり教科書によっては、問いの細かさや適切さについてどうなのかと思うところがあります。例えば具体的に例を挙げると、日本教科書の3年生の56ページの単元ですが、礼儀はなぜ必要なのかということで、次の3つの場面において、最も礼儀正しい振る舞いと最も無礼な振る舞いは何でしょうかということで、初めて人に会うとき、不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行くとき、プレゼントを人からもらったとき、こういうときに最も礼儀正しい振る舞いを考えることは重要だと思うのですが、最も無礼な振る舞いを考える意味が私にはわからなくて、それは底無しではないかと思うのですが。子どもにとっては面白いかもしれませんが、そういう無礼さを突き詰めていく必要がなぜあるのだろうということで、これは適切さということではどうなのかと思います。これをさいたま市の学校に一斉にやらせるのはなかなか考えにくいと思います。

細田教育長

一つ一つの教科書を見ていくと、大谷委員がおっしゃっているような考えるヒントを大きく示していることについてはどこも検定教科書でございますので、大きく外れてはいないと思いますが、その後の設問の方向性をかなりがちり示している教科書と自由度が与えられていて子どもたちが考えるヒントがいっぱい与えられている教科書というところの観点はあると思います。そういうところも各委員が考える材料になるかと思います。もうだいぶ議論してまいりましてそろそろ意見をまとめていく必要があるかと思いますが、まだ言い足りない、これを委員の皆さんから意見としていただきたいというものはございますか。

石田委員

各教科書について、東京書籍は「つぶやき」「アクション」という欄があり、まとまっていて教科書的にはこれをやっていたら間違いのないという方向性が見えるんですが、学校図書は教材の冒頭にいちいちイラストが描いてあってこれは中学生には不要なのではないかと、ただこの教科書には「心の窓」という素晴らしい欄がありそれは感心しました。教育出版は3年の88ページ、死刑制度を考えるということで、これから日本がどうなっていくかわからないので、さいたま市の中学生に考えてほしい題材が載っており非常にいいと思います。光村

図書はコラムという欄があって、このコラムが非常に良いと思います。日本文教出版はノートを書くとなると教員の負担が大きく時間もかかるかなと。学研教育みらいは3年生の50ページに壊れた掲示板というのがあり、「クローズアップ」で被災地の現在、震災前と震災後をきちんと伝えています。また、「クローズアップ・プラス」というのがあり、各自生徒が考えるようになっていて、「心に響く言葉」も非常に良くて主体的に課題を発見する能力を養える力が一番学研教育みらいがあるのかなと思います。廣済堂あかつきは読み物が多いのかなと。ガストロカメラについては先ほど聞いて、大宮の宇治先生のことかと分かり感心していました。日本教科書はちょっとという感じです。私の意見としてはこの中から選ぶのは大変ですが、皆さんの意見も参考に選びたいと思います。

細田教育長

それぞれの特徴を分かりやすくお伝えいただきました。そろそろ意見をまとめさせていただければと思います。

大谷委員

これは要望ですが、子どもたちの今後の生きる力、人権についての正しい理解、人権感覚を是非子どもたちに御指導いただきたい。人権意識、人権感覚、生きる力は内容項目になっているのか、いじめなどは各社で取り上げられていますが、当然人権は内容項目ですよね。公民の時間等でしっかりおやりになるのでしょうか、是非道徳でもお願いしたい。

細田教育長

もう2時間経ちましたので、各委員からの御意見を伺いましたが、この教科書でよいかという進め方は無理かと思いますので、先ほど石田委員もお話になりましたが、私どもも調査研究し、議論を行ってきましたので、各委員がこの教科書と思う教科書を投票していただき、その結果により採択をしたいと思います。採決の方法は無記名による投票としたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、本議案の採決は無記名投票によることとします。事務局から投票結果の取扱いについて説明をお願いします。

教育総務課長

それでは御説明いたします。投票結果の取扱いについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、過半数、つまり4票以上得票したものを採択することとし、得票数が3票で同数の場合は、教育長に決定していただくこととなります。こ

れら以外の投票結果になった場合ですが、上位2者が明らかな場合には、上位2者を対象に再投票をしていただき、それ以外の場合は再度議論の上、投票のあった者のうちから再投票していただければと存じます。以上です。

細田教育長

ただいま事務局から説明がありましたが、何かございますか。

それでは、そのようにいたします。調査専門員長につきましては御退出をお願いいたします。

投票の流れにつきまして、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長

投票に関する進行につきましては事務局で進めさせていただきます。これから第1回投票用紙を配布いたします。教科書発行者の一覧がございますので、採択すべきと思う発行者の投票欄に1者だけ丸をお付けください。記載はボールペンでお願いします。なお、複数の発行者に丸を付れたり、丸以外の印は無効となりますので御注意ください。書き損じをされた場合は、はっきりと分かるように2重線で消していただき新たに丸をお付けください。投票は、事務局が投票箱を持って席を回りますので、投票用紙を半分に折った上でお入れください。説明は以上ですが何か御質問はございますか。

よろしいでしょうか。それでは、第1回の投票用紙をお配りします。

<投票用紙配布>

教育総務課長

それでは、記入をお願いします。

記入はお済みでしょうか。それでは、事務局が投票箱を持って回りますので、投票してください。

<投票>

教育総務課長

それでは開票します。教育委員と事務局の双方で確認をしますので、柳田委員と管理部長に立会いをお願いいたします。

<開票>

細田教育長

お待たせしました。集計結果の報告が事務局からありましたので、集計結果を発表します。

教育出版2票、学研教育みらい4票。以上でございました。

ただ今の投票の結果、学研教育みらいとなりました。それでは確認いたします。学研教育みらいを採択することについて御異議ありません

んか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、「議案第58号 平成31年度使用さいたま市立中学校用教科用図書（道徳科）の採択について」は、学研教育みらいを採択することといたします。

それでは、暫時休憩といたします。再開は13時からといたします。

議案第59号 平成31年度使用さいたま市立浦和中学校用教科用図書（道徳科）の採択について

細田教育長 それでは、再開します。議案第59号につきまして事務局から説明をお願いします。

高校教育課長 本議案は、平成31年度からさいたま市立浦和中学校で使用する教科用図書、特別の教科道徳の採択をお願いするものです。

さいたま市立浦和中学校は、さいたま市立浦和高等学校との併設型中高一貫教育校でございますので、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第3項」に基づき、高等学校における教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書については、学校ごとに教科用図書の採択を行うことになっておりますことから、「平成30年度さいたま市立浦和中学校教科用図書選定委員会設置要綱」を定め、市立浦和中学校長を委員長とするさいたま市立浦和中学校教科用図書選定委員会を設置いたしました。

浦和中学校におきましては、学校教育目標である「高い知性と豊かな感性・表現力を備えた国際社会に貢献できる生徒の育成」を受けて、本市の併設型中高一貫教育校としてふさわしい道徳の教科用図書を推薦させていただいております。それでは、この後、選定の経緯等につきまして、市立浦和中学校長から説明させていただきます。

浦和中学校長 市立浦和中学校教科用図書選定の経緯につきまして、説明させていただきます。市立浦和中学校教科用図書選定委員会では、「平成30年度さいたま市立浦和中学校教科用図書選定委員会設置要綱」に基づき、調査専門員会を組織し、6月から7月までにかけて、教科用図書の内容につきまして、教科書目録に掲載された8種30点全てについて調査研究をいたしました。教科用図書の選定方針といたしましては、中学校学習指導要領、さいたま市中学校教育課程編成要領等の趣

旨内容を踏まえていること、調査の観点を踏まえて、道徳の教科用図書の特色を的確に把握できるよう、多面的・多角的な研究を行うこと、調査・研究にあたり、慎重かつ公正の確保に努めることといたしました。

お手元の資料を御覧ください。資料は、推薦する教科用図書出版会社の一覧、教科用図書調査専門員会報告書及び選定報告書並びにさいたま市立浦和中学校教科用図書採択に係る根拠法令を掲載しております。選定委員会の調査研究結果を教科書目録順に報告いたします。推薦する発行者は、東京書籍、学研教育みらい、廣済堂あかつきの3種です。

東京書籍の優れている点は、登場人物のセリフを考えたり、ロールプレイなどを取り入れたりすることができる教材があり、体験的に学習ができるよう工夫されている点などが挙げられます。

次に、学研教育みらいの優れている点は、題材の終わりに設けられている「問いの例」がシンプルで、一方的な方向付けをせず、自己を振り返らせるものが多いので、教師がさまざまな切り口で授業展開しながら、生徒の思考を広げることができる点などが挙げられます。

最後に、廣済堂あかつきの優れている点は、本冊と別冊の2分冊で構成されており、本冊で様々な題材を読んで学習しながら、別冊で自分自身の考えを書きながら整理することができ、相互作用で道徳的思考を深めることができる点などが挙げられます。

細田教育長

御案内のとおり、さいたま市立浦和中学校は、併設型中高一貫教育校であり、教科書採択におきましても根拠法令が他の中学校とは異なりますので、それに則り、学校での調査研究を経た上で議案となっているところでございます。つきましては、ただ今御説明がありました内容について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

武田委員

先日授業参観をさせていただきましたが、学級会を拝見して、人の話をよく聞いて発言をすとか、自分たちが生活で目指す面を自分たちで決めていくとか、お互いの話を聞いてまとめていくということを子どもたちだけで役割分担をしており、中学生とは思えない感じで感心して見ておりました。先ほどさいたま市全体の中学校の教科書ということで学研教育みらいが選ばれましたが、そういう自分たちで考えていくさいたま市の子どもを作っていくという中で、普段からそのように行っている浦和中の子どもたちのためには、なおさら先ほど選んだ学研教育みらいが一番活きるのではないかと思います。今浦和中学校の選定委員長長の報告をいただきましたが、先ほどの議案の選定委員長長の報告でも該当することを挙げますと、「主題名を教材に含めな

いことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にした構成になっている。」「物事を多面的・多角的に考え、議論することができるように、異なる複数の意見の提示や関連情報がある。」このあたりがやはり合致する特長となっていると思います。学校の調査研究結果の中でも、学研教育みらいのものについては、「現代的な課題に対する資料が充実している。」「多少難しいテーマを扱っているが、生徒が意見を出し合える題材が多い。」と指摘されておりますし、私自身も教科書を見てそう思いますので、浦和中学校の場合であればなおさら学研教育みらいが望ましいのではないかという印象を持ちました。

細田教育長

他に意見はございますでしょうか。

私自身も自分たちで考えさせる、主体的、対話的で深い学びということでも学研教育みらいが今の浦和中学校の生徒の現状にもぴったりかなと思う次第でございます。他の委員の方から反対の意見もないということでございますので、武田委員の意見も踏まえまして、価値観の押し付けがなく多面的、多角的な思考を促していくという意味でも学研教育みらいを採択するというところで御異議がありませんでしょうか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、「議案第59号 平成31年度使用さいたま市立浦和中学校用教科用図書（道徳科）の採択について」は、学研教育みらいを採択することといたします。

それではここで、事務局の入れ替えを行います。

議案第60号 平成31年度使用さいたま市立小学校用教科用図書の採択について

細田教育長

それでは、再開いたします。議案第60号につきまして事務局から説明をお願いします。

指導1課長

本議案は、平成31年度からさいたま市立小学校で使用する教科用図書の採択をお願いするものです。

教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条、さいたま市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第3号等の規定により、埼玉県教育委員会の指導助言の下にさいたま市教育委員会で行うことになっております。したがいまし

て、本日ここに教科用図書の採択をお願いするものでございます。

今年度採択していただく小学校用の教科用図書は、国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健の11種目でございます。本日は教科用図書の種目ごとに順次採択をお願いいたします。各種目の採択では、始めに教科用図書調査専門員長から、調査専門員会の結果を報告させていただきます。次に、教科用図書選定委員長から、選定委員会の結果を報告させていただきます。その後、学校の研究結果を事務局から報告させていただきますので、これらの報告を参考としまして、審議の後、採択をお願いいたします。

なお、本日の報告は、全て教科書目録順に行われますので、御承知おきください。以上でございます。

細田教育長

これから、教科書採択の協議検討に入ります。お手元にお配りしている協議順の一覧のとおり進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

<異議なし>

国語

細田教育長

それでは、国語の教科書について協議検討を行います。本日御協議いただきます教科書につきましては、過渡期になっており1年の使用ということですのでお含みおきくださいますようお願いいたします。

調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

小学校国語の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された5種56点について調査研究をいたしました。

まず、東京書籍です。目標との関わりについては、3領域全てで、伝え合う力を意識した学習課題が設定されています。内容については、5年生26ページ「つながる」では、関連する既習事項が示され、29ページ「ひろがる」では、他教科等への活用が促されています。資料については、内容が充実しており、学習を振り返る際や他教科の学習の際に参考になると思われれます。表記・表現については、欄外に5つの記号が使用され、分かりやすい表記になっています。

次に、学校図書についてです。目標との関わりについては、伝え合う力の育成を図るために、学年の初めには、「学級作り」のページを設け、意欲的に交流する態度の育成を図っています。内容については、4年生上巻114ページですが、脚注にこの単元の学習の流れが示さ

れており、児童が見通しをもって主体的に学べる工夫があります。資料については、授業で使う言葉、国語のカギなど、学習の大事なところを整理して掲載しています。表記・表現については、新出漢字には本文中にルビが振ってあり、初見でも読めるようになっています。

次に、三省堂についてですが、今回見本本の送付がなかったため、前回の調査研究結果に基づいて御説明します。目標との関わりについては、伝え合う力の育成を図るために「話すこと・聞くこと」で「話し合い」「説明・報告」等、基本的な言語技能の定着の工夫が図られています。内容については、2年生「プラザ」では、学習した内容について日常生活で生かす場面を設定して、習得したことを活用できるようになっています。資料については、3年生の別冊のように、資料集が別冊になっており、児童に活用させたい資料が豊富に載っています。表記・表現については、入門期の文章中の文字の大きさを変えて、強調する等の工夫がされています。

次に、教育出版についてです。目標との関わりについては、伝え合う力の育成を図るために、各領域において、互いの考え方や意見を交流する「学び合い」を学習の様々な場面に位置付けています。内容については、3年生上巻102ページですが「見学したことを知らせよう」など、社会、理科、総合的な学習の時間に関連する題材で学習が進められているため、他教科での活用がしやすくなっています。資料については、巻末「この本で学ぶこと」にあるように、学習の目当てと活動の内容が示され、児童が見通しをもって学習できるようになっています。表記・表現については、本文に「ここが大事」「ふり返り」等の印が使用されています。

最後に、光村図書出版についてです。目標との関わりについては、「伝え合う力」の育成を図るために、「話すこと・聞くこと」の領域以外でも、友達との対話などの学習場面が多く設けられています。内容については、2年生下巻36ページから45ページまでですが、「読む」単元で学習したことを「書く」単元で生かすなど、習得したことを活用しながら習得内容を確認にしていけるような構成の工夫が見られます。資料については「この本、読もう」では、学習した教材の関連図書が紹介され、読書を広げる配慮がされています。表記・表現については、文章の下に脚注があり、自分で考えながら学習を進めることができるようになっています。

以上で、国語の説明を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目国語について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、教育出版、光村図書出版です。

東京書籍の優れている点は、始めに「1つかむ 2取り組む 3ふり返る 4広げる」という学習の進め方が示され、見通しをもって学習できる点、各単元において「つながる」で関連する既習事項が示されている点、「ひろがる」で他教科への活用を促す内容が示されている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元で、相手を意識した活動が主体的に行われるよう、学習の手順や流れが明示されている点、社会、理科、総合的な学習の時間に関連する題材が取り入れられている点、他教科との関連が図られ、活用がしやすいよう配慮されている点などが挙げられます。

光村図書出版の優れている点は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元で、活動の流れを図で分かりやすく示されている点、見通しをもって活動に取り組めるようになっている点、全ての単元の最後に、評価の観点を示した「ふりかえろう」が位置付けられ、学習を通してどのような力が身に付いたかを確認できる点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在使用しているのは、教育出版の教科書です。

東京書籍27校、学校図書7校、三省堂1校、教育出版68校、光村図書出版35校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、6ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

私の方から御質問いたします。現在教育出版の教科書を使用しておりますが、学校から何か不都合等の特別な御意見はございますか。

調査専門員長

特にございません。また、調査専門員会でもそういう話題は出ておりませんでした。

石田委員

学校における調査研究結果の資料で、教育出版を選んだ学校は教育出版のみの推薦で、教育出版以外を推薦する学校は2社を推薦してい

ますが、意味的に何かあるのでしょうか。

細田教育長

今回につきましては、これまでの教科書採択とは状況が違いまして今使っている教科書をベースにしながら各学校で調査研究をした側面があり、1種又は2種の推薦ということでございますので、現在使用している教育出版以外を推薦する学校についてはもう1種出したということでございます。

特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

現時点では各学校でも十分活用して特に問題がないということでございますので、教育出版を採択するという御異議ありませんか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、国語は、教育出版を採択することといたします。

書写

細田教育長

続きまして、書写の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

小学校書写の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された6種36点全てについて調査研究をいたしました。

まず、東京書籍です。目標との関わりについては、3年生から6年生までには1ページ目にインデックスがあり、その学年の学習内容が明示されるとともに、その内容に対応したページが分かるように、工夫されています。内容については、4年生6、7ページですが、毛筆学習では、基本点画の理解と習得を意識しており、基本点画をまとめたこの資料は、5年生、6年生の教科書にも繰り返し掲載されています。資料については、硬筆入門期の1、2年生では、巻末付録に「できたよ！シール」を添付し、低学年期からの評価意識や児童が楽しみながら学習できる工夫がなされています。表記・表現については、判型が特殊なワイドサイズとなり、基礎・基本を大切にして、見やすく、シンプルで学びやすい編集がなされています。

次に、学校図書についてです。目標との関わりについては、4年生巻頭の折込3ページですが、毛筆学習の進め方を観察、試し書き、練習、まとめ書きと一連の流れの中で学習できるよう工夫しております。内容については、右ページに毛筆手本、左ページに解説が基本と

なっており、様々な児童が学びやすい編集がなされています。資料については、1、2年生には評価シールや名前シールが添付され、自己評価ができるようにしています。表記・表現については、2ページにわたる横型の大型手本を多用し、原寸の手本となるようにしています。

次に、三省堂についてですが、今回見本本の送付がなかったため、前回の調査研究結果に基づいて御説明します。目標との関わりについては、教師にとっての指導事項、児童にとっての学習目標の設定が「ほ先はいつも上のはし」のように、分かりやすい言葉で表現されています。内容については、点画の書き方では「ほ先はいつも左はし」のように、分かりやすい言葉が大きな文字で提示されています。資料については、各学年に応じて、手紙やはがきなど日常生活での書くことにつなげた資料が掲載されています。表記・表現については、運筆の腕のイラストを示し「うで全体を動かして書く」ことを意識させています。

次に、教育出版についてです。目標との関わりについては、3年生12ページですが、毛筆手本が右ページ、解説は左ページにあります。左ページでは、目当てを明示し、「考えよう・ここが大切・生かそう・振り返ろう」と、段階的な学習の流れが6年生まで一貫した構成になっています。内容については、「トライあんどチャレンジ」のページが1年生から6年生まで意図的・計画的に構成されており、日常生活や学校生活における文字を書く機会を意識しています。資料については、鉛筆の持ち方、字を書く姿勢、良い姿勢の合言葉と、親しみやすいイラストで表現されており、児童が、どのページを学習するときにも参考にできるように工夫されています。表記・表現については、ポイントが目立ち見やすい、同じ形式で進行するので分かりやすい、色使い、強弱、境界線が分かりやすいなどの工夫が随所に見られます。

次に、光村図書出版についてです。学習指導要領の目標との関わりについては、3年生14、15ページですが、このように、右ページに解説、左ページに毛筆使用教材と解説と硬筆、振り返りがあるのが、3年生以上の基本的なレイアウトになっています。内容については、双葉マークの「たいせつ」で、学習のポイントについて色使いを工夫して分かりやすく示すとともに、同じ色の囲みで振り返りを示し、児童が主体的に学習できるようにしています。資料については、日常生活や学習活動につながる事例や横書きを発達の段階に応じて巻末に掲載しています。表記・表現については、鉛筆の持ち方が唱え歌と写真で示されており、児童自身が繰り返して活用できるようにしています。

最後に、日本文教出版についてです。目標との関わりについては、

4年生6ページですが、基本点画の確認では、点画の名称を枠の中に書き込ませるなどの工夫が見られます。内容については、「れんらくちょうの書き方」のように、日常生活や学校生活につながる広がる学びが設定されています。資料については、毛筆用具の準備から後始末も分かりやすい上に指導しやすいものになっています。表記・表現については、統一されたキャラクターを活用し、1年生から6年生までポイントを吹き出しで示すことで、児童が分かりやすいようにしています。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目書写について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、教育出版、光村図書出版の2種です。

教育出版の優れている点は、「準備」から「振り返り」まで、学習の進め方が明確に示されている点、解説が詳しく、児童が主体的に学習を進める手助けになっている点、毛筆指導のページが見開きで手本と解説が示されており授業での活用に配慮されている点、前学年のまとめが示されており、既習事項を振り返りながら学習できるようになっている点などが挙げられます。

光村図書出版の優れている点は、文字の書き方のポイントなど、分かりやすい説明・指示がなされている点、前時までに学習したことを生かすことができるようにページが示されている点、めあて、タイトル、詳しい目標が明記され、児童が意識して書けるようになっている点、横書きや手紙の書き方等の事例を取り上げ、生活や他教科等の学習活動に活用できる点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在使用しているのは、教育出版の教科書です。

東京書籍8校、学校図書7校、三省堂2校、教育出版85校、光村図書出版13校、日本文教出版6校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、7ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武田委員

教育出版ですが、文字の歴史の資料の中に埼玉県の新倉山古墳の鉄剣が掲載されていて、郷土の歴史と絡んでいてよいのかなということと、やはり日本の文字を自分で書くということだけでなく、文字の歴史を考えるとというのはおそらく英語教育などとも絡んでくる視点だと思いますので、そういう字の奥に広がっている歴史だとか、生活の中で活用していくという部分で教育出版は随分応用が多彩にできると思いました。日本の歴史をきちんと字の観点から押さえていくのはそれこそグローバルに他国の文化に対する目を養うということでも広い意味でいい教科書かなと思いました。

細田教育長

他にいかがでしょうか。

特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

文字の向こうにある歴史をしっかりと捉えている点、また、それがグローバルな視点をも育成できるという点で教育出版は優れた教科書であるという意見がございましたがいかがでしょうか。

それでは、書写につきましては、教育出版を採択するというところで御異議ありませんか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、書写は、教育出版を採択することといたします。

社会

細田教育長

続きまして、社会の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

それでは、教科書目録に掲載された4種22点全てについて、教科書目録順に、御報告いたします。

まず、東京書籍です。目標との関わりについて3・4年生では、郷土の発展に尽くした人々の働きやその思いを具体的に取り上げており、地域への誇りや愛着をもてるようにするとともに、伝統と文化を尊重し受け継ぐ大切さを自覚できる教材や学習場面が設定されています。内容については、3・4年生上巻24、25ページですが「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」ということで、問題解決的な学習の進め方について解説されております。また、学習問題の下には「しらべること」を具体的に示すことにより、見通しをもって主体的

に学習を進められるように配慮されております。資料については、5年生の様々な事例地の学習で日本全図と拡大図が表示され、我が国の国土全体における事例地の位置が分かりやすくなっております。また、全ての資料に番号が振られており、児童が活用しやすいように工夫されています。表記・表現については、「調べる」の最後に、次時への疑問が書かれており、児童の思考が次へつながるように配慮されております。5年生の他の単元においても同様の工夫がされております。

次は、教育出版です。目標との関わりについて3・4年生では、店の販売について、販売者側の工夫と消費者側の工夫の関連付けを重視し、小学校学習指導要領における内容の取扱いを十分に反映した内容になっております。内容については、問題解決的な学習における「深める」の学習活動が充実しており、自分と社会を関わらせて考えることにより、社会の形成に参画する資質を育てられるように工夫されています。資料については、6年生上巻39ページですが、歴史学習の単元の始めには、世紀と時代が付いていて、学習している時代が分かりやすくなっております。表記・表現については、学び方の説明や資料のページが設けられており、学習の目的に応じて折込みページが設けられております。

次に、光村図書出版です。目標との関わりについて3・4年生では、身近な地域から市の様子に学習を広げていく過程において、児童が活動している写真を活用して学習を進めていく構成になっており、無理なく地域学習を始められるように配慮されています。内容については「ホップ 見つける」、「ステップ 調べる・話し合う」、「ジャンプ まとめる・広げる」と設定されており、問題解決的な学習の過程がわかりやすくなっております。資料について、6年の最後に「学習に役立てよう」があり、歴史の中の自然災害、国民の祝日、日本国憲法前文などが掲載されており、必要に応じ、資料として活用できるように配慮されています。表記・表現については、5年生21ページですが、「ことば」のコーナーにおいて、学習の基礎・基本となる重要な語句の解説がされており、基礎的・基本的事項の定着を図る配慮がなされています。

最後に、日本文教出版です。目標との関わりについては、3・4年生下巻80、81ページですが、3・4年生では、安全なくらしを守るための仕組みや協力することの大切さを学習することによって、「ふりかえてみよう」において、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養えるような活動が設定されています。内容については、「問いの旅」として学習の進め方が「出会う」「ぎもんをもつ」「問題をつかむ」「予想を立てる」「調べる」「わかる」「ふりかえり、表現

する」で問題解決的な学習を進められるよう、図やイラストを活用して説明されております。資料については、「資料の特色」として、歴史学習における想像図の見方が詳しく書かれており、大昔の暮らしの2枚の想像図を並べて掲載し、本文に矢印をつけることにより、変化に気付かせるように工夫されております。表記・表現について、グラフは色調や色の組み合わせ、斜線、ドットを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されております。

なお、現在使用している教科書は教育出版です。

以上で、社会の説明を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目社会について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、教育出版の2種です。

東京書籍の優れている点は、郷土の発展に尽くした人々の働きやその思いを具体的に取り上げるなど、伝統と文化を尊重し受け継ぐ大切さを自覚できる教材や学習場面が設定されている点、各学年とも見開きで「学習の進め方」を設け、問題解決的な学習の流れが分かりやすく示されている点、写真や図が大きく効果的な構成であり活用しやすい配慮がされている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「深める」で構成され、問題解決的な学習を進められるよう説明されている点、学び方の説明のページや資料のページにおいて、必要に応じて折り込みを活用し、分かりやすく示す工夫がされている点、6年生の歴史学習では学習している時代が捉えられるよう工夫されている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在使用しているのは、教育出版の教科書です。

東京書籍2校、教育出版8校、光村図書出版1校、日本文教出版1校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、8ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

野上委員 教育出版の6年生の上の94ページ、96ページを見ていただきたいのですが、日本が今日の繁栄を来すには、94ページにありますとおり維新期の米欧視察をしており、私はここから近代日本が始まったと思っております。96ページには、いろいろな教科書が出てきておりますが、我が県を代表する渋沢栄一、先ほど大谷委員から富岡製糸場の話もありましたが、生徒にとっては身近なところに題材があると、そこに行った人もいたりして、そこからいろいろなことが広がっていくと、何も社会科だけの問題ではなくて、海外の問題も出てくるし、広がりをもし求めるのであればこの教科書は優れているのではないかと思います。

細田教育長 他にいかがでしょうか。
特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。
広がりを求めることができる教科書である、また、身近な渋沢栄一などを取り上げて子どもたちが興味関心を持って学習を深めることができるという点で教育出版を推す意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。教育出版を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、社会は、教育出版を採択することといたします。

地図

細田教育長 続きまして、地図の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 それでは、教科書目録に掲載された2種2点全てについて、教科書目録順に、御報告いたします。
まず、東京書籍です。目標との関わりについては、4ページから6ページまでを御覧ください。A4判の大きさを生かし、海に囲まれ、多様性に富んだ日本列島の姿を一望できるように示されているとともに、日本の世界自然遺産についても写真で紹介され、国土に対する理解が深まるように配慮されております。内容については、キャラクターの吹き出しを活用し、地図の読み取りのポイントや疑問など示す

ことにより楽しみながら学習できるように配慮されております。資料について、都道府県や主な国の統計資料は、一行おきに色を変えて示すとともに、地域ごとに色分けがされ見やすくなるように工夫されております。表記・表現については、リンゴやトマトなどの特産物がイラストによって一目で分かるようになっているとともに、全体的に色が濃く示されており、カラーユニバーサルデザインに配慮がされております。

次に、帝国書院です。目標との関わりについては上空からの様々な写真が示されており、地域社会や我が国の国土などに対する理解と愛情が深められるように配慮されております。内容については、4ページを御覧ください。将来への希望や地図学習の楽しさにつながるように、若田光一さんによる宇宙からのメッセージが掲載されており、さいたま市の児童にとって身近に感じられるようになっております。資料について「日本とそのまわり」のページでは、アジアを大きく示しており、近隣諸外国との位置関係が捉えやすいページ構成になっております。表記・表現については、館岩や木賊温泉など、さいたま市の児童が自然の教室で訪れる地名が掲載されており、社会の学習以外の場面においても活用することができるようになっております。さらに、地図の高低を表す色使いがはっきりしており、カラーバリアフリーにも配慮がされております。

なお、現在使用している教科書は帝国書院です。

以上で、地図の説明を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目地図について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、帝国書院の2種です。

東京書籍の優れている点は、A4判の大きさを生かし、海に囲まれ、多様性に富んだ日本列島の姿を一望できるように示すとともに、日本の世界自然遺産について写真で紹介している点、全ての地図にものさしの図が入った縮尺を表記し、視覚的に捉えられるようになっている点などが挙げられます。

帝国書院の優れている点は、国土の様々な様子が上空からの写真で示されている点、若田光一さんの宇宙からのメッセージが掲載され、「館岩」や「木賊温泉」など、さいたま市の児童にとって身近な地名が掲載されている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長 資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在使用しているのは、帝国書院の教科書です。
東京書籍7校、帝国書院96校でございます。
なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、9ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。
私の方から御質問いたします。ただ今帝国書院の教科書を使用しておりますが、学校から何か特別な御意見はございますか。

調査専門員長 教科書のサイズが児童用の机に非常にマッチしておりますので、帝国書院の方が児童の使い勝手が良いと思います。

野上委員 私も帝国書院を推薦する者ですが、例えば竹島に関して関係国と協議中と書いてある地図帳もあるわけですが、少なくともいろいろな争いがあることは承知しておりますが、小学校の低学年から曖昧なことは教えていけないと思います。日本の領土であり、帝国書院ですと16ページ及び17ページに竹島は不法に占拠されているという記載がありますし、法治国家ですから幼少時から曖昧なことを教えることにはないと思います。

細田教育長 他にいかがでしょうか。
特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。
帝国書院の地図はサイズが子どもたちの机に合っているということ、竹島等の日本の領土に関する表記が正確に行われているということから帝国書院を推す意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。
それでは、帝国書院を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、地図は、帝国書院を採択することといたします。

算数

細田教育長 続きまして、算数の教科書について協議検討を行います。調査専門

員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

それでは、教科書目録に掲載された6種56点について、教科書目録順に、御報告いたします。

まず東京書籍です。教科の目標との関わりについては、数学的な考え方や表現力の育成のために、問題解決型の学習を中心に構成されております。内容については、6年生29ページですが、要所に「考えよう 伝えよう」のページがあり、他者との比較や伝え合いの場面が詳しく示されています。学び方の定着や友達との関わりを大切にしており、さいたま市の進めるコミュニケーション力やクリティカルシンキングを身につける内容となっています。資料については、図の指導、例えば4年生では数直線についての学習ページを特別に設定するなど、定着を図る工夫がなされています。表記・表現については、目次に、前後の学年とのつながりのある単元を明記しています。特に、後の学年の単元を記しており、6年生では中学校数学との単元を示すなど、小・中学校の学習の系統を重視しています。

次に、大日本図書です。教科の目標との関わりについては、思考力・表現力を育成するために、立式や解決方法の根拠を自分の言葉で書いたり説明したりするよう考慮されています。内容については、3年生39ページですが、立式や方法のわけなどを記述する欄が多く設けられ、思考力や表現力を育てる工夫がなされています。資料については、数直線図の書き方を説明するページを設けるなど、図を使って問題解決できるよう工夫がされています。表記・表現については、単元の始めに単元全体の課題が示され、各時間の課題には番号が付けられ、囲みで強調されています。

次に学校図書です。教科の目標との関わりについては、日常生活場面や算数的活動を取り上げて学習への興味を持たせ、意欲的に学習に取り組む工夫がされています。内容については、5年生78ページですが、数直線や4マス関係図を明示するなど、系統的に図の指導を行い、問題解決や説明に活用できるようにしています。資料については、要所に「学びの準備」ページを設け、既習の振り返り、補充ができるように工夫されています。また、中学校との接続が図れるよう「中学校へのかけ橋」が別冊になっています。表記・表現については、算数用語以外の言葉の指導が設けられており、言語活動について意図した内容になっています。

次に、教育出版について御説明いたします。教科の目標との関わりについては、身近な日常場面を素材とし、学び方を示し、既習の学習内容をもとに数学的活動を行うなど、見通しをもち筋道を立てて考えたり、表現したりする力が育つように構成されています。内容につい

ては、5年生196ページですが、複数の考え方を示し、それぞれのやり方を自分なりの言葉で説明し比較する活動を通して、思考力や表現力を高める工夫をしています。資料については、「学びのマップ」ページがあり、前学年との系統がまとめられています。また、学習内容が端的に整理されていて、定着や次学年へのつながりが意識されています。表記・表現については、単元のまとめでは、4コマ漫画で学習内容を振り返り、定着を図れるよう工夫されています。

次に、啓林館です。教科の目標との関わりについては、既習事項の活用や数学的活動を通して問題解決をしたり、繰り返し学習を行ったりして、基礎的な知識と技能の定着を図れるように配慮されています。内容については、2年生下巻110ページですが、巻末に学習内容を活用するページや多くの補充問題が用意されており、基礎・基本の定着を図る工夫がされています。資料については、付属の補助教材として、4年生上の巻末に分度器や5年生には円周測定マシンが織り込まれ、操作活動を通して理解の定着を図る工夫をしています。表記・表現については、主たる学習ページは青を基調に、活用のページは緑を基調に色分けして学習と活用を分けています。

最後に、日本文教出版です。教科の目標との関わりについては、学習の流れを明記し、考え方の視点や、考えを伝え話し合うための具体的な例を示し、思考力、表現力を伸ばせるように工夫されています。内容については、5年生下巻6ページですが、複数のやり方を並べ、吹き出しにあるように、「まず」「次に」「最後に」など話型の例を挙げ、それぞれの考え方を比較検討する活動での言語活動を重視しています。資料については、巻末に「学び方ガイド」や用語のまとめが厚手の用紙で折り込まれており、切り取って学習に活かせるように工夫されています。表記・表現については、A B版という幅広い紙面構成のため、側注を利用して問題解決の手がかりとなるヒントや学習の手順、着眼点を示すなど、ゆとりのある内容配列になっています。

以上で、説明を終わらせていただきます。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目算数について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、教育出版の2種です。

東京書籍の優れている点は、自力解決、比較検討、適用発展と進む問題解決型学習を基盤とした構成になっている点、練習問題に難易度の差を設け、学び直しや活用ができるように工夫されている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、身近な日常場面を素材としている点、巻末の「学びのマップ」には、端的に学習内容がまとめられており、次の学年へのつながりを意識できるよう工夫されている点などが挙げられます。

細田教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長 資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在、使用しているのは、東京書籍の教科書です。

東京書籍97校、大日本図書1校、学校図書2校、教育出版5校、啓林館3校、日本文教出版1校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、10ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。私の方から御質問いたします。ただ今東京書籍の教科書を使用しておりますが、学校から何か特別な御意見はございますか。

調査専門員長 学校からは特に御意見を受けておりません。

細田教育長 他にいかがでしょうか。特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

それでは算数につきましては、東京書籍が自力解決、比較検討、適用発展と進む問題解決型学習に適しているということから、東京書籍を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、算数は、東京書籍を採択することといたします。ここで10分間休憩いたします。

理科

細田教育長 それでは、再開します。理科の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

種目理科について、教科用図書調査専門員会で調査研究をした6種28点について報告いたします。

まず、東京書籍です。目標との関わりについては、防災、減災に関する内容や生命を守る行動を考える活動が充実しています。内容について、6年生の14、15ページですが、問題をつかみ、自分の問題とする過程を丁寧に扱うことで学習への動機付けがしっかりなされ、意欲的に活動に取り組むことができる展開となっています。資料については、巻末資料に理科の学び方、観察、実験の際の基礎的な内容等が豊富に掲載されていて、その都度確認していくことで、知識・技能の定着を図っております。全体を通して、児童の思考の流れを考慮した問題解決的な学習活動ができる構成になっています。また、防災、減災に関する内容や生命を守る行動を考える活動が充実しています。

次に、大日本図書です。目標との関わりについては、教科書の巻頭に「理科の学び方」のページを設け、それぞれの学年で重視される理科の学習の仕方が理解できるように工夫されています。内容について、4年生の149ページですが「考えよう」の項目において、調べたことからどのようなことが言えるか、視野を広げて考察できるように工夫されており、思考力の育成が図られるように工夫されています。資料については、科学者の業績などの資料が掲載され、児童の科学的な興味・関心を高めることに役立つと考えられます。全体を通して、学習の系統性を大切にしながら、問題解決の過程を重視した学習活動を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができる構成となっています。

次に、学校図書です。目標との関わりについては、巻頭において問題解決の流れを当該学年の学習内容を用いて示すとともに前学年までで重視される理科の学習の仕方も示し、その定着を図るように工夫されています。内容については、4年生の141ページですが、観察、実験の方法を分かりやすく示すとともに、巻末に実験器具の使い方をまとめて掲載し、観察、実験の技能が高められるように工夫されています。資料については、巻末に豊富な資料や語句の索引を設け、学習を振り返る際や調べる際に活用できるようにしています。全体を通して、問題解決能力を育てるために、問題解決の過程を重視した単元構成の工夫がなされています。また、補充や発展的な学習ができるように豊富な資料が掲載されています。

次に、教育出版です。目標との関わりについては、問題解決の中でも特に問題を作る過程を大切に扱っており、児童の思考の流れに配慮した構成になっています。内容について、5年生の28ページですが、「結果から考えよう」の項目では、1つの実験結果からではなく、クラス全体の結果から傾向性を考えさせる工夫がなされています。資料

については、巻末に「生き物ミニ図鑑」等の資料を掲載し、児童の興味・関心を高める工夫がなされています。全体を通して、児童の思考の流れを大切にしながら、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けられるよう配慮されており、話し合いを通して思考力の向上が図られるように工夫されています。

次に、信州教育出版社ですが、今回、発行者からの見本本の送付がなかったため、前回の調査結果に基づき、説明いたします。目標との関わりについては、巻頭で1年間の学習内容を示し、児童に学習の見通しをもたせたり、学習意欲を高めたりする配慮が見られます。内容については、観察、実験時の注意事項が詳しく示されており、直接体験を重視した内容となっています。資料については、地域性豊かな資料を豊富に取り上げることで、自然の事物に対する興味・関心を高める配慮がなされています。全体を通して、長野方面の地域資料が豊富に用意されています。

最後に、新興出版社啓林館です。目標との関わりについては、各学年に別冊教科書が準備され、基礎的・基本的事項の定着や思考力の育成が図れるように工夫されています。内容については、5年生の22ページですが、計画を立てる場面や考察を行う場面に話し合う場面が設定されており、コミュニケーション能力の育成に有効であると考えます。資料については、地域資料集が掲載されており、自分たちの地域と比較することも可能になっています。全体を通して、別冊教科書と併用することで効果的に学習が進められるように配慮されています。また、発展資料が充実し、児童が意欲的・継続的に問題解決が進められるよう配慮されています。

以上で、理科の説明を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目理科について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、学校図書の2種です。

東京書籍の優れている点は、学習への動機付けが丁寧に記され、児童が見い出した問題を解決していく構成になっている点、防災・減災に関する内容が充実している点などが挙げられます。

学校図書の優れている点としては話し合い活動を要所に取り入れており、言語活動の充実と表現力の育成が図られている点、生活経験を想起させる場面等を取り上げている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

す。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在、使用しているのは、東京書籍の教科書です。

東京書籍99校、大日本図書2校、学校図書4校、教育出版0校、信州教育出版社0校、啓林館2校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、11ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武田委員

理科は、学年が上がるにつれ実験が入ってきて、学校で事故が起こらないかとか、あるいは安全に過ごせるかということが保護者として非常に気になる教科ですが、今回上がっている中では東京書籍のものが理科室の使い方が非常に詳しくて充実しているかと思います。以前に中学校の理科の教科書を選ぶ際も同様に理科室の使い方という基本部分で子どもを守るということを重視しましたので、そういう意味でも東京書籍がよろしいのではないかと思います。

細田教育長

他にいかがでしょうか。

特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

それでは、安心安全の配慮、理科室の使い方について扱っている東京書籍が良いのではないかという御意見をいただきました。東京書籍を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、理科は、東京書籍を採択することといたします。

生活

細田教育長

続きまして、生活の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

それでは、教科書目録に掲載された8種17点について、教科書目録順に御報告いたします。

まず、東京書籍です。目標との関わりについては、「友達と学校を

探検しよう」という小単元名で具体的な学習活動が、「何があるのかな」という本文で活動の目当てが、吹き出しなどで子どもの気付きや思いが、そして右端には、マナーや技能等が分かりやすく示され、児童の主体的な活動を通して狙いが達成できるように工夫されています。内容については、上巻の最初の「すたあとぶっく」ですが、9ページ分の写真等を使って、入学当初に身に付けさせたい内容がよく整理されていて、小学校生活の円滑なスタートができるように配慮されています。資料については、ここにありますようなことのほか多様な表現活動が例示されています。表記・表現については、どのページを御覧になっても、紙面の構成に統一感があって、子どもにも見やすく分かりやすいものとなっています。

次に、大日本図書についてです。目標との関わりについては、豊富な写真や資料で児童の意欲を喚起し、それらを参考にしながら、活動を広げることができる工夫がされています。内容については、下巻の78ページですが、ここから始まるおもちゃ作りでは、何度も作り直せるような投げ掛けが多く、科学的な見方・考え方の基礎を養う活動となるような工夫がみられます。資料については、上巻・下巻共に「かくしゅうどうぐばこ」があり、生活を豊かにするほか自立への基礎を養うことにつながるためのヒントや豊富な資料が紹介されています。表記・表現については、折り込みページや仕掛けページなど絵本の良さを取り入れ、活動を促しています。また、生き生きとした表情の写真が多いのも特色として挙げられます。

次に、学校図書についてです。目標との関わりについては、上巻の目次ですが、他の多くの発行者は、学習する順番にページを追っていくスタイルですが、この教科書は活動や体験の内容ごとにテーマをもった大単元として構成し、見通しをもって学習できるように配慮されているのが、他の発行者と違う大きな特色です。内容については、1日の学校生活や安全な登下校が分かりやすく紹介され、小学校生活の円滑なスタートができるように配慮されています。資料については、「ものしりノート」が必要な箇所に挿入されているほか、上下巻とも巻末には、「せいかつか学び方ずかん」「生き物図鑑」等があり、児童の主体的活動を促すよいヒントとなる資料が豊富にございます。表記・表現については、写真やイラスト、文字等が大きくシンプルで子どもに分かりやすいものになっております。

次に、教育出版についてです。目標との関わりについては、上巻26ページですが「春を見つけに行こう」という小単元名の横に「体全部を使って探そう」と活動の目当てが具体的な言葉で明記され、学習指導要領の趣旨に沿って、児童自らが意識的に取り組めるように工夫されています。内容については、必要な知識や技能を写真や発見ヒン

トで示し、児童の主体的な活動を支援する内容となっています。資料については、身に付けさせたい習慣や技能は、繰り返し活用できるように巻末にまとめてあり、本文中からも参照できるようになっています。表記・表現については、大切な情報を同じ位置に單元ごとに色を変えて配置しています。

次に、信州教育出版社ですが、今回、発行者からの見本本がなかったため、前回の調査結果に基づき、説明いたします。目標との関わりについては、端午の節句、七夕、お月見、ひな祭りなど、家庭や地域に残る伝統文化、伝統的な行事を教材化し、地域に対する愛着を育てる工夫がみられます。内容については「いつもの場所」の夏と冬のページです。信州の豊かな自然を舞台に季節による自然や子どもの遊びの違いが描かれています。資料については、上下巻を通じて、長野県という地域に密着し、その資料を中心に構成されています。表記・表現については、唯一の縦書き、B5判になっています。

次に、光村図書出版についてです。目標との関わりについては、活動ごとに「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階構成により、児童が目的意識をもって活動に取り組み、進んで活動を展開できるよう工夫されています。内容については、上巻の47ページですが、右下のコーナーで活動が主体的に進められるように工夫されています。資料については、上巻40ページですが、子どもの表情がわかるダイナミックな写真など、子どもの目を引く工夫がなされています。表記・表現については、文字によるものは必要最低限の情報量で、児童の活動を促す写真が多くなっています。

次に、新興出版社啓林館についてです。目標との関わりについては、公共の意識やマナー、基本的な生活習慣など自立への基礎が養われるように工夫されています。内容については、上巻の2ページから11ページまでですが、小学校生活のスタートを円滑にするために、絵本のようなイラストを中心に、登下校の安全や1日の学校生活の様子が分かりやすく表現されています。資料については、「生き生き図鑑」と題して学び方やマナーについて、別冊で学ぶことができるようになっています。また、探検ブックがあり、活動の場に持ち運びやすくなっています。表記・表現については、キャラクターが上下巻で使われており、吹き出しの文字が漫画風で目を引きます。公民館の写真として本市の鈴谷公民館が掲載されているほか、本市の防災倉庫の写真も載っています。

最後に、日本文教出版についてです。目標との関わりについては、下巻の10ページですが、ここでは人との関わりを重視した町探検の様子を写真で紹介しています。それぞれの単元で人や社会、自然との関わりを重視し、関わる楽しさを味わえるように工夫しています。内

容については、公園の写真が、四季の変化を捉え、子どもたちの関心を高めることができるようになっていきます。資料については、巻末に「なんでも図鑑」という資料コーナーがあり、いつでも利用できるように工夫されています。表記・表現については、単元ごとにイメージカラーを設定し、見出しの文字が大きく書かれているなど、見やすさへの配慮もあります。

以上で、生活の説明を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目生活について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、学校図書の2種です。

東京書籍の優れている点は、児童が主体的に活動できるよう、狙いが工夫されている点、入学当初に身に付けさせたい内容がよく整理され、小学校生活が円滑にスタートできるように配慮されている点などが挙げられます。

学校図書の優れている点は、各大単元が長期的に継続した活動として設定されており、気付きを質的に高められるように配慮されている点、学習カードの書き方が大きく示されている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在、使用しているのは、東京書籍の教科書です。

東京書籍97校、大日本図書1校、学校図書4校、教育出版4校、信州教育出版社0校、光村図書出版2校、啓林館1校、日本文教出版0校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、12ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。私の方から御質問いたします。現在東京書籍の教科書を使用しておりますが、学校から何か特別な御意見はございますか。

調査専門員長

特に上がってきておりません。

細田教育長

他にいかがでしょうか。

特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

生活については、児童が主体的に活動できるよう、狙いが工夫されている等のことから東京書籍を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

それでは、生活は、東京書籍を採択することといたします。

図画工作

細田教育長

続きまして、図画工作の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

それでは、教科書目録に掲載された2種12点について、教科書目録順に御報告いたします。

まず、開隆堂出版です。教科の目標との関わりについては、図画工作科で「育てたい力」を3つのマークで示しております。3・4年生上の8、9ページですが、題材名の表記の上には、育てたい力を示すマークと共に、各題材の目当てが示されており、目当てを確認しながら学習することができます。9ページの最後「ふりかえって、はなしあおう」では、言語活動を充実させるとともに、児童が4つの観点に即して活動を振り返ることができます。内容については、巻末の「パレットコーナー」や「道具箱」において発達段階に応じた内容、用具、技法が分かりやすいように写真やイラストで説明され、図画工作の基礎・基本が習得できるようになっています。資料については、巻頭の「小さな美術館」において、それぞれの学年の発達に合わせてテーマが設定され、テーマに関する作家の作品や児童の作品が掲載されています。表記・表現については、表紙が色鮮やかで目を引き付けます。また、紙面全体に識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置などが工夫されており、カラーユニバーサルデザイン機構のCUDマークを取得しています。

次に、日本文教出版についてです。教科の目標との関わりについては、育てたい力を4つの「学習の目当て」と、5つの活動から分類してあります。1・2年生上の46、47ページですが、題材名の表記の上には題材の目当てが示されており、目当てを確認しながら活動す

ることができます。内容についてもこちらのページで御説明しますが、各題材のページにおいてキャラクターが登場し、活動のヒントを示しています。また、児童の発言や話し合いの言葉を多く表記しており、言語活動の充実を図ると共に、各題材の最後には、児童の言葉で振り返りが記載されています。資料については、巻頭の教科書美術館を始め、「造形の森」「図画工作の広がり」を設定し、作家の作品や児童の作品を掲載しております。表記・表現については、表紙にあるサブタイトルが、低・中・高学年の2学年ごとに同一のものになっており、発達の段階に合わせて各題材を弾力的に扱えることが分かり易いようになっています。また、目次において、各題材の活動の様子が分かる写真の一覧が掲載されています。カラーユニバーサルデザインについては、校閲を受け全ての子どもが識別できるように配慮されています。

以上で、図画工作の御報告を終了いたします。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目図画工作について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、開隆堂出版、日本文教出版の2種です。

開隆堂出版の優れている点は、各題材ページにおいて「振り返り」等が示されており、児童が自己評価できるようになっている点、「パレットコーナー」や「道具箱」で、発達の段階に応じた技法等が分かりやすく掲載されている点などが挙げられます。

日本文教出版の優れている点は、児童がアイデアを出したり、イメージを広げたりするためのポイントがわかりやすく示されている点、「使ってみよう材料と用具」で、図画工作における基礎・基本が習得できるようになっている点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在、使用しているのは、開隆堂出版の教科書です。

開隆堂出版97校、日本文教出版6校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、13ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武田委員 保護者の立場から経験を申し上げますと、小学校の図工はいろいろなものを作りますので、保護者としてはいつ使うかわからないからという理由で、ありとあらゆる箱等を常日頃ため込んでいるコーナーを家の中に作って備えているわけですが、実際に私の子どもは今採択中の開隆堂出版で図画工作を学びましたが、この教科書はこういう企画でこういう作品がというときに実際の授業の作品例を非常にたくさん挙げていて、それを見て大体どういうものを準備したらいいのかということ子どもと話しながら親も関わるという形で使うことができました。また、学校からの指示も何と何を持ってくるようにと訳も分からず言われるのでなく、教科書何ページを保護者が見て必要なものを持ってくるようにという形で教科書のつくりを生かした連絡を学校からいただくこともできましたので、体験から言うところの開隆堂出版はとてもいいのかと思います。

細田教育長 他にいかがでしょうか。
 特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。
 武田委員から御意見をいただきましたとおり、作品例が豊富に掲載されていて、親子で準備の段階から話ができるという非常に優れた教科書ではないかという意見がございました。他に御意見がなければ開隆堂出版を採択するというところで御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、図画工作は、開隆堂出版を採択することといたします。

音楽

細田教育長 続きまして、音楽の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 それでは、教科書目録に掲載された、2種12点について、教科書目録順に御報告いたします。
 まず、教育出版です。目標との関わりについては、6年の目次ですが、教育出版の特徴は、教科書の構成において、必須の部分を絞り、オプション部分を多くして、扱う教材や時間数を教師の裁量に任せている点です。内容については、6年の8ページ「おぼろ月夜」と、

40ページ「ふるさと」を御覧ください。「おぼろ月夜」は見開きと
とじ込みの写真資料、「ふるさと」は見開きのイラストとなっている
ように「共通教材」の掲載ページ数や形態などについて、楽曲それぞ
れに異なる扱いをしております。表記・表現については、見開きごと
に写真資料等を掲載するなど、視覚的に多くの情報が目に入るよう工
夫されています。また、「音楽づくり」の活動を、「音のスケッチ」と
してオプション部分に位置付けております。教師の裁量によって教材
が選択でき、旋律や伴奏を組み合わせるなど、高度で発展的な
内容も取り扱えるよう、工夫されております。

次に、教育芸術社についてです。目標との関わりについては、6年
の目次ですが、教育芸術社の特徴は、題材に番号を付けて順序性を明
らかにし、一つの題材の中で様々な教材による活動を綿密に関連さ
せ、学びが構築できるよう教科書を構成している点です。内容につい
ては、6年の10ページ「おぼろ月夜」と38ページ「ふるさと」を
御覧ください。「おぼろ月夜」や「ふるさと」を始めとした「共通教
材」については、すべて見開き2ページで、いずれの曲を選択した場
合にも同じ重さの取り扱いとしております。表記・表現については、
挿絵、イラスト等については、学習内容との関連を十分に図り、子
どもの集中力を学習内容に集中させ、イメージや理解を楽曲から深めら
れるよう配慮されています。また、「音楽づくり」の活動を、児童全
員が同じ内容を必ず学べるように、必須として扱い題材の中に位置付
け、段階的な学習過程を踏んで、無理なく習得できるよう工夫されて
おります。

なお、現在使用している教科書は、教育出版です。

以上で、報告を終わります。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目音楽について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報
告します。推薦する発行者は、教育出版、教育芸術社の2種です。

教育出版の優れている点は、音楽を内面から捉えて表現できる学習
へと発展させられるように構成させている点、また、「音楽づくり」
の活動は、教師の裁量によって教材を選択できるよう構成されている
点などが挙げられます。

教育芸術社の優れている点は、表現と鑑賞の活動を関連させて学び
が深められるよう段階的・系統的に設定している点です。また、「音
楽づくり」の活動については、児童一人ひとりの創造性を培い、協同
的な学習活動が行われるよう工夫されている点が挙げられます。

細田教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。
す。

指導1課長 資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。
なお、現在、使用しているのは、教育出版の教科書です。
教育出版70校、教育芸術社33校でございます。
なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、12ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。
私の方から御質問いたします。現在教育出版の教科書を使用しておりますが、学校から何か特別な御意見はございますか。

調査専門員長 特に出しておりません。

細田教育長 他にいかがでしょうか。
特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。
音楽につきましては、内面から捉えて表現できる学習へと発展させられるよう構成されているということがございますので、教育出版を採択するという事で御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、音楽は、教育出版を採択することといたします。
ここで暫時休憩いたします。

家庭

細田教育長 それでは、再開します。家庭の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 それでは、教科書目録に掲載された2種2点について、教科書目録順に御報告いたします。
まず、東京書籍です。目標との関わりについては、2ページの目次ですが、全ての題材について、このように3ステップで問題解決的な学習を進めるように示しております。具体的には、44、45ページを御覧ください。題材の初めに3段階で問題解決的な学習を構成して

おり、それを繰り返すことにより基礎的・基本的な知識及び技能が身に付けられると共に、家庭での実践につながりやすくしています。また、45ページのような書き込み欄が多く設けられており、自分の考えを書き込むという言語活動により思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されています。内容については、関連する内容について、時期を集中させて取り扱うように題材構成が工夫されています。資料については「日本の伝統」「プロに聞く」のコーナーで、伝統文化の継承に役立つ知識が得られ、発展学習につながる工夫がされています。表記・表現については「安全」マークを含む様々なマークが使われ、他教科やほかの題材等との関連等がすぐ分かるようにされています。

次は、開隆堂出版です。目標との関わりについてですが、まず、4、5ページの目次ですが、それぞれの単元について、小見出しで課題を示すようになっております。具体的には、58ページですが、身近な生活の事例を取り上げて課題を見つけ、「考えよう」「調べよう」という問題解決的学習を取り入れて、児童が実際に話し合ったり実験したりしながら主体的に学習できるようにしています。内容については、「できたかな」「ふり返ろう・生かそう」のコーナーのような実践後の振り返りが多く、児童が自己評価をしながら、学習内容の理解について確認できます。資料については、製作や調理などは、基本的な指導事項を中心に豊富な写真資料を活用して紹介されており、児童の目線で手元がはっきりわかるなど、効果的に用いられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得に大変役立つ資料となっています。表記・表現については、作業を伴う製作や調理については、左から右への見開きで解説されており、作業しながら見やすいように示されています。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目家庭について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、開隆堂出版の2種です。

東京書籍の優れている点は、どの題材も3段階の問題解決的な学習が構成されている点、書き込み欄が多く設けられており表現力等の育成が図られているように工夫されている点が挙げられます。

開隆堂出版の優れている点は、学年ごとにテーマを設定し、学習が積み上げられるように題材が構成、配列されている点、実践後の振り返りが多く、児童が自己評価しながら学習を進められる点などが挙げられます。

細田教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。
す。

指導1課長 資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。
なお、現在使用しているのは、開隆堂出版の教科書です。
東京書籍8校、開隆堂出版95校でございます。
なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、13ページを御覧ください。

細田教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。
私の方から御質問いたします。現在開隆堂出版の教科書を使用しておりますが、学校から何か特別な御意見はございますか。

調査専門員長 報告は受けておりません。

細田教育長 他にいかがでしょうか。
特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。
開隆堂出版については、実践後の振り返りが多く、児童が自己評価しながら学習を深めることができるという構成であるということですので、開隆堂出版を採択するという御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、家庭は、開隆堂出版を採択することといたします。

保健

細田教育長 続きまして、保健の教科書について協議検討を行います。調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 体育科保健領域教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された5者全ての教科書について調査研究いたしました。
まず、東京書籍についてです。教科の目標との関わりについてですが、保健の内容の体系化に対応し、「つなげよう」というコーナーを随所に設け、系統性をもった学習ができるように工夫されています。内容の特色については、3・4年生の16ページから23ページまでですが「育ちゆくからだとわたし」では、成長の様子を「身長の伸び

グラフ」に記入したり、図や資料を見て考えたり、話し合ったりしながら学習が進められるようになっていきます。また、各単元末には、学習内容を整理する場面が設けられて、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されております。資料については、5・6年生の「病気の予防」では、原因・予防について豊富な資料を基に学習できるようになっています。エイズの資料については、感染者数の推移グラフやHIVの写真とともに、エイズ予防財団へのホームページアドレスが掲載されており、調べ学習を推進できるよう工夫されています。表記・表現については、学習の進め方として学習の課題を明示するとともに、「ふり返ってみよう」、「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「活用して深めよう」などという学習活動の内容についてマークしてあり、児童が一連の流れの中で課題解決学習を展開できるよう工夫されています。

次に、大日本図書についてです。まず、小学校学習指導要領の教科の目標との関わりについてですが、健康という概念を児童にとって身近な行動という観点から示し、学習に取り組みやすくなるように工夫されています。内容の特色としては、5・6年生の28、29ページですが「病気の予防」では、導入でイラストを用い、病気の原因や予防について児童の身近な生活態度などから関心をもたせ、学習ができるように工夫されています。資料については、「学習内容の理解に役立つ資料」と「発展学習用の資料」の2種類に分けた表記をしてあります。表記・表現については、学習課題に沿って「やってみよう」「話し合ってみよう」、また、「活用」など活動場面が記号によって統一され、分かりやすく示されています。

次に、文教社についてです。目標との関わりについてですが、習得した知識を実践につなげたり、道徳心を培うことができるような実習やブレインストーミングを取り入れたりするなど、より理解が深まるよう工夫されています。内容の特色としては、5・6年生の38ページですが、ここでは、喫煙を誘われたときの断り方を考えられるよう工夫されています。また、飲酒や薬物などについて、誘われた時の断り方を考えられるよう工夫されています。資料については、情報コーナーとして薬物の呼び方等、今日的な情報についても資料として掲載しております。また、AEDについては、5・6年生に発展資料として掲載されております。表記・表現については、イラストをもとに課題把握をさせ、グラフ等の資料をもとに課題解決を図れるように、さらに、学習のまとめでは、「これからの自分へ」というコーナーにより実践への意欲付けができるよう工夫されています。

次に、光文書院についてです。目標との関わりについてですが、習得すべき知識や原理・原則等の学習内容について「つかむ」のコーナ

一を設け、明確化しております。内容の特色としては、5・6年生の35ページですが「つかむ」のコーナーで学習課題を明確にした後、資料等により課題解決を図っております。また、「学んだことをあてはめよう」により思考力を、「学んだことをみつけよう」により判断力を、さらに、「学んだことをもとにつたえよう」により表現力を養うよう工夫されています。資料については、イラストと写真を効果的に用い、知識の習得を促進できるよう工夫されています。表記・表現については、様々なマークにより、一度学習した内容、ほかの学年の保健学習との関わり、関連するホームページの紹介、知っておくためになる内容等を掲載し、児童に学習の手がかりを表示してあります。また、食育マークがあり、食育関連内容が各学年に表示されています。

最後に、学研教育みらいについてです。目標との関わりについてですが、健康や安全に関する知識の実践的な理解を重視し、生活や経験を振り返る活動や実験、実習などの活動を豊富に取り上げ、実践的な理解を促すよう工夫されています。内容の特色としては、3・4年生の22、23ページですが、1単位時間を見開きで学習できるように構成されており、資料も写真、イラスト、様々なキャラクターのコメントなどにより児童の学習意欲を向上できるよう工夫されております。資料については、5・6年生の発展のコーナーとしてAEDについて紹介されておりますが、本市における心肺蘇生法実習の指導の際に、より理解が深めることができる内容となっております。表記・表現については、喫煙、飲酒、薬物を誘われた場合のロールプレイにより、学習を深めることができるよう工夫されています。また、「かつよう」では、学んだことをもとに生活実践に結び付く力を育て、さらに、今まで学習してきたことを標語に表現したり、自身の夢と希望に結び付けて考えたりするなど、主体的な学習ができるよう工夫されています。このように、学んだことを整理し、自分の考えを書き込み、自分だけの教科書をつくることのできるような構成になっています。以上で説明を終わらせていただきます。

細田教育長

続いて、選定委員長から2種又は3種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長

種目保健について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。推薦する発行者は、東京書籍、学研教育みらいの2種です。

東京書籍の優れている点は、「保健の内容の体系化」に対応し、「つなげよう」を随所に設け、系統性をもった学習ができるように工夫されている点、また、各単元末には、学習内容を整理する場面が設けら

れて、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている点などが挙げられます。

学研教育みらいの優れている点は、生活や経験を振り返る活動や、実験、実習などの活動が豊富に取り上げられ、実践的な理解を促すように工夫されている点、児童に自分の考えを書き込ませることで、学習を振り返りながら、理解を高めていくことができる点などが挙げられます。

細田教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

資料Cの4ページをお開きください。各小学校が調査研究の結果報告した、1種又は2種の推薦について、教科書目録順に申し上げます。なお、現在使用しているのは、学研教育みらいの教科書です。

東京書籍0校、大日本図書0校、文教社0校、光文書院0校、学研教育みらい103校でございます。

なお、学校の調査研究所見の概要につきましては、14ページを御覧ください。

細田教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武田委員

保健というのはある種家庭と最も結び付いた教科かもしれないと思いますが、身長、体重の変化、第二次性徴、いわゆる思春期の体の変化について、いろいろ見比べますと学研教育みらいが一番細かい例をたくさん出して、いろいろな悩みが教科書を読むだけで解決できる形になっていて、非常に子どもの気持ちに寄り添っていると思います。そういう意味で学校の選定結果も全て学研教育みらいになっているのかと思いますが、保健が3年生から始まる中で、子どもが気にするポイントもそこかと思うので、そこが非常に丁寧に作られており、身長、体重、そこにコンプレックスを持っている人も多いと思いますが、そういう部分でさいたま市の子どもの自己肯定感にも結びついてくると思いますので、そういう意味では学研教育みらいが子どもを励ます形になっていてよいのではないかと思います。

細田教育長

他にいかがでしょうか。

特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。調査専門員長は退席をお願いします。

武田委員からも御意見がありましたとおり、保健において第二次性徴の取扱いは大変重要な部分でありそこが非常に丁寧な作りになっ

ている点、また、学校からも圧倒的な支持がございますので、学研教育みらいを採択するという事で御異議ありませんか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、保健は、学研教育みらいを採択することといたします。
これで、全ての教科の協議が終了いたしました。それでは、11種の教科書の採択結果について確認をしてみたいと思います。事務局お願いいたします。

指導1課長 それでは、11種の教科書の採択結果について御報告いたします。
国語、教育出版、書写、教育出版、社会、教育出版、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、東京書籍、生活、東京書籍、音楽、教育出版、図画工作、開隆堂出版、家庭、開隆堂出版、保健、学研教育みらいでございます。

細田教育長 ただいま、指導1課長から、11種目の教科書の採択結果が確認されました。この件について、何か御質問はありますか。

それでは、議案第60号につきましては、ただいま確認したとおり採択いたします。

以上をもちまして本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。これにて教育委員会会議を閉会いたします。

8 閉 会 午後3時48分